

# ISO/IEC/JIS Plastics

事務局便り 2015 年 4 月

## 第 25 回 ISO/TC 138 国際会議

### 1. TC 138 の構成

TC 138 (プラスチック管・継手) は、日本が幹事国 (TC 議長及び幹事) となっている。(表 1) に構成を示す。TC138 傘下には日本が幹事国を取る SC8 を含め、8 個の SC で構成されている。

(表 1) TC 138 の構成

セクション	内容	幹事国
TC 138	プラスチック管・継手	日本
WG 8*	管の基本寸法	
SC 1	廃下水用プラスチック管・継手	フランス
SC 2	給水用プラスチック管・継手	スイス
SC 3	工業用プラスチック管・継手	イタリア
SC 4	ガス供給用プラスチック管・継手	オランダ
SC 5	試験方法・基本規格	オランダ
SC 6	強化プラスチック管・継手	オーストリア
SC 7	プラスチックバルブと補助器具	イタリア
SC 8	配管更生	日本

\* : WG 8 は TC 138 直轄の WG

SC1～SC4 は管の用途別で区分されており、SC5 は管に関する試験方法、SC6 は強化プラスチックを材料とした管及び試験方法、SC7 は管の周辺器具となっている。これらに対して、SC8 は「配管更生」という特異のジャンルである。

### 2. TC 138 の活動状況

各 SC の活動状況の指標として、今までの規格発行数及びこの 1 年間の審議件数を(表 2)に示す。

2014 年の審議件数は SC 別では SC5 が最も多く、活発な審議が行われたことが示唆される。

日本として注力している「配管更生」は日本を幹事国として WG12 から SC8 への昇格となり日本提案を含む多数の新規開発テーマを進めていく予定である。

TC 138 は元来欧州中心であり、議論の場を広げる方策の一つとして、国際会議 (年次会議) の開催場所を欧州と非欧州とで交互に設定している。開催国の選定は TC 幹事国の責務である。ところで、2014 年はホスト国がケニヤ (ナイロビ) に決まっていたが、開催困難との連絡があり、急遽代わり

の開催国を選定する必要に迫られたが、幸いにも韓国に 2014 年のホスト国を引き受けて頂き、第 25 回の ISO/TC138 国際会議を開催することができた。

(表 2) 規格数及び審議件数

	規格数 1)	審議件数 2)
WG 8*	6	0
SC 1	35	6
SC 2	76	4
SC 3	9	1
SC 4	39	6
SC 5	86	26
SC 6	33	6
SC 7	11	1
SC 8	12	4

1) 2014-12-31 までの規格発行数

2) 1 年間(2014-01-01~12-31)の件数 (定期見直しは除く)

### 3. 第 25 回 TC 138 国際会議の概要

第 25 回 ISO/TC138 国際会議は、10 月 20 日～24 日の 5 日間にわたり、韓国ソウルにて開催され、参加者は 21 カ国 72 名であった。今回は非欧州開催ということで参加者は昨年のおスロ会議の 22 カ国 114 名と比較すると大幅減となった。一方、日本からの参加は 12 名と昨年と同数であった。

会議は、SC6 の総会が同幹事国（オーストリア）で行われたため、SC6 を除く 7 つの SC とその傘下の WG のうち 7 つの WG が会議を開催し、開発中の規格、2014 年定期見直し規格、新規提案について討議が繰り広げられた。そのうち、SC2（給水用プラスチック管・継手）の総会で、耐圧ポリエチレン管に関する国際標準化について、TC138 では初めてとなる日本発規格の予備提案が行われ、日本は TC138 での規格開発の一步を踏み出した。

会議 4 日目には AG（諮問グループ）会議が開催された。会議最終日には、TC138 の総会が開催され、各 SC からの会議報告と TC138 が抱える問題を討議したが、そこで 2016 年の TC138 国際会議開催を引き受けていた中国から辞退の申し出があった。そこで、代わりに日本は同年の引受を検討することを伝えた。しかし、2017 年以降は会議開催の引受国は全くの白紙で TC138 としては開催国探しが続く大きな課題となった。

### 4. 今後の取り組み

2015 年 1 月に、国内 TC138 委員会が開催され、今回の TC138 国際会議の報告をすると共に、今後の日本の対応を議論した。

SC2 の耐圧ポリエチレン管に関する国際標準化については、NWIP(新業務項目提案)の提案に向け準備を進めることとし、SC8（配管更生）については、新たに立上げた SC8 国内委員会で将来の新規日本提案に向け、検討することとした。

以上